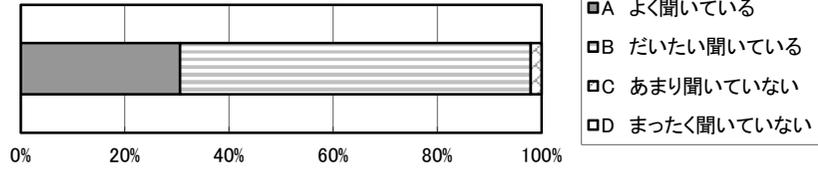


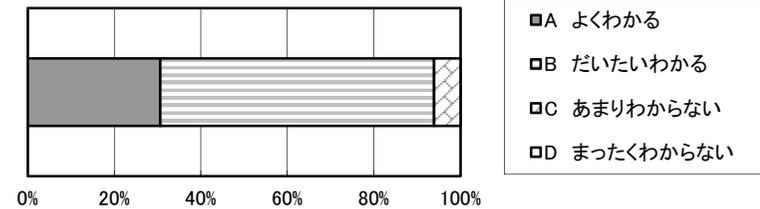
**\* 4・5・6年の児童アンケート報告 \***

(1)授業中先生の話や友だちの発表を聞いていますか。



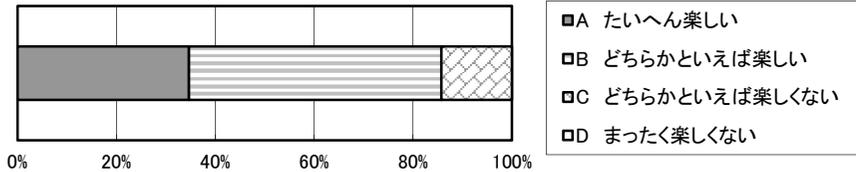
よく聞いている・だいたい聞いていると答えた児童を合わせると、ほぼ100%です。普段から朝礼や授業中など、本校の児童は、本当に人の話をしっかり聞くことができていると感じます。本校では、「思いを伝え合う力の育成」を目指していますが、伝え合うためには、「話す力」以上に「聞く力」が必要となります。これからも、しっかり話を聞くことのできる子供の育成を目指していきます。

(2)あなたは、授業の内容がわかりますか。



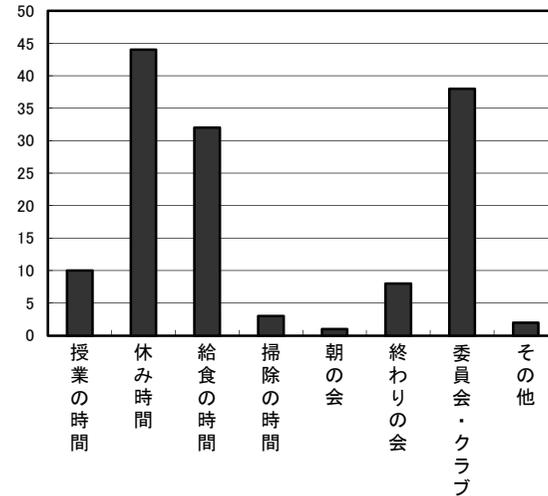
約94%の児童が、授業の内容がよくわかる、だいたいわかると答えています。一方、あまりわからないと答えた児童も複数います。算数科ではT. T. (教員2人体制)の授業や少人数の習熟度別分割授業を、また5・6年理科でT. T. の授業を行っております。通級指導教室も含め、個別の課題にできるだけ即したサポートを心がけておりますが、引き続き児童の実態を把握して、個別指導や補習対応などに配慮して参ります。

(3)あなたは、今の学校が楽しいですか。



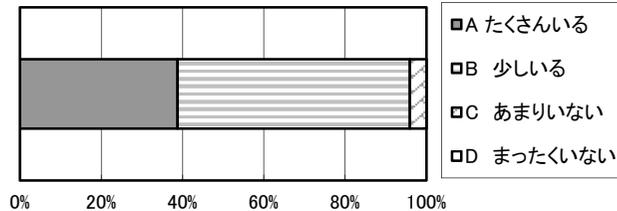
A・B合わせた肯定的な評価は約86%です。今年度も、「どちらかといえば楽しくない」と答えた児童もいます。「楽しくない」と感じる要因は様々あると考えられますが、学校としては、全員の居場所を大事にしながら、一人ひとりの良さを認め、生かしながら、集団生活の中での自尊感情を高められるよう、努力して参ります。

(4)あなたは、学校の時間で何の時間が楽しいですか。



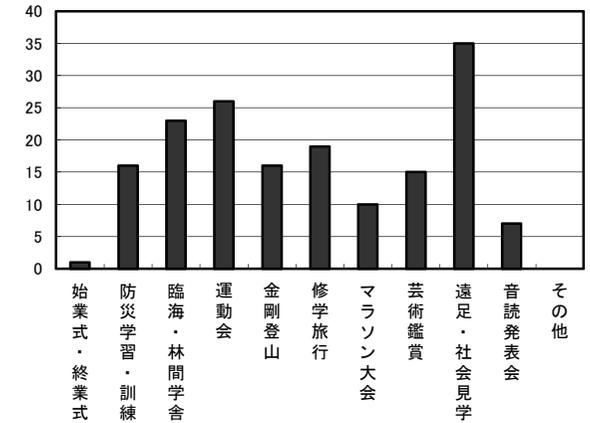
学校での楽しい時間ベスト3は、①休み時間②委員会・クラブ③給食の時間です。この傾向は近年の調査と変わりありません。友達とおしゃべりや遊びが中心の休み時間が楽しいものであるということは、友達関係がうまくいっているとも委員会・クラブの時間が、休み時間を上回りました。休み時間ほどには自由度はありませんが、クラブ・委員活動も、希望をベースに選択した活動に自主的に取り組み、楽しめているのだと思います。給食が楽しいと感じている子が多いのはうれしいことです。その他は、「ちょっとした時間」という回答でした。やさしさと笑顔いっぱいの学校という教育目標を具現化するために、これからも努力いたします。

(6)学校にあなたの気持ちをわかってくれる友だちがいますか。



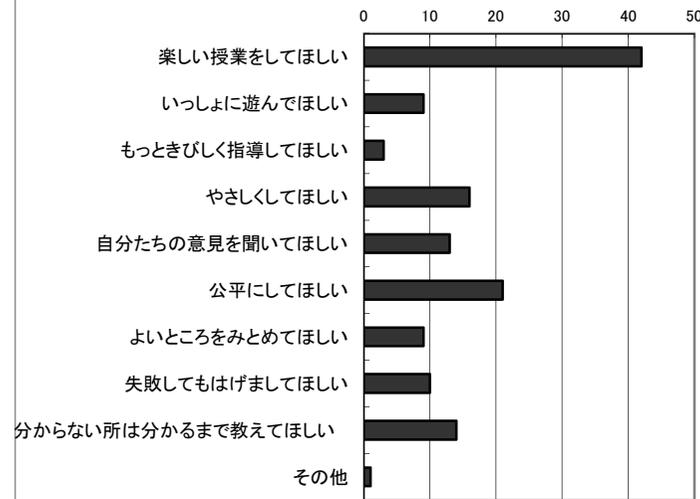
約8割の児童が、気持ちをわかってくれる友だちがいると答えています。しかし、まったくいないと答えた子が2名、あまりいないと答えた子も7名いました。単学級の小規模校はクラス替えもなく、新しい出会いの場は多くありません。ずっと一緒に学校生活を送る仲間の良いところをたくさん見つけ、信頼関係を豊かにしていけるよう、支援していかなければなりません。個別の相談活動に力を入れるとともに、普段から児童との関わりを深くし、少しのサインも見逃さないよう努力します。関係諸機関とも連携しながら、学級や異年齢集団である「なかよし班」での取り組みなど、学校全体での「仲間づくり」を推進いたします。

(5)あなたは、学校行事の中で何の行事が楽しいですか。



遠足・社会見学などの校外学習、そして臨海・林間学舎、修学旅行などの宿泊行事は、子供たちにはとても楽しいものようです。マラソン大会や金剛登山など、しんどさ乗り越える部分がある行事への回答数も一定あります。達成感を味わう魅力があるのかもしれませんが。芸術鑑賞会や音読発表会といった文化的行事も、毎年一定の評価があります。今年度は、「防災学習・訓練」の項目にも複数回答がありました。集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てることが学校行事の目標です。学校の教育課程は、時代の変化に応じ多様化していく分、精選も必要となってきます。学校行事が子どもたちにとって充実したものとなり、そして成長に寄与できるよう、検討を重ね工夫いたします。

(7)先生に特に希望することはどんなことですか。

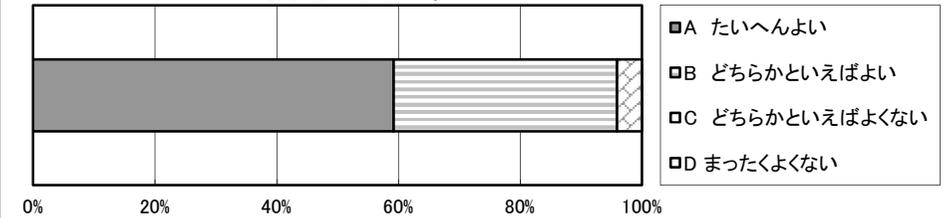


子供たちの先生に期待することは、

- ①楽しい授業をしてほしい
- ②分からないところは分かるまで教えてほしい
- ③公平にしてほしい
- ④いっしょに遊んでほしい

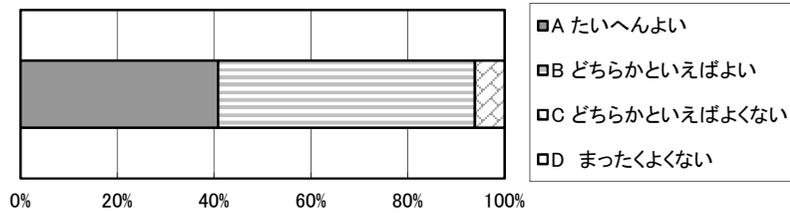
という4項目に多くの回答がありました。この設問は、「現在そうではないので、そうあってほしい」、「現在満足しているが、引き続きそうあってほしい」という思い、どちらも含まれています。「やさしくしてほしい」は減りましたが、「公平にしてほしい」「分かるまで教えてほしい」の2項目は、例年回答数が多い傾向です。改めて日々の対応がどうか、職員で振り返ってみます。①は、昨年度同様最も回答が多い項目です。現状に満足しての今後の期待か、まだまだ期待に応えられていないのか、もう少し分析してみたいと思います。子供たちの自尊心を大切にしながら子供たちの願いに応えるべく、学ぶこと自体に楽しさを感じられる授業、分かる授業づくりに力を入れて参ります。

(8)教科によって担任以外の先生が授業をすることについてどう思いますか。



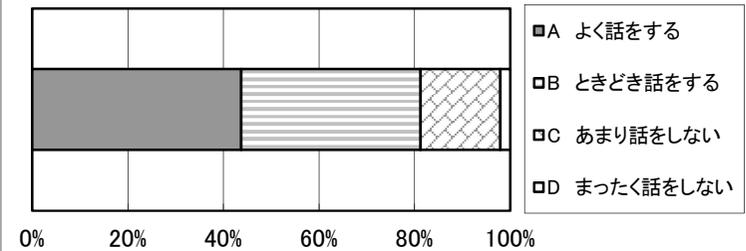
担任以外のいろいろな先生の授業を受けることを望んでいる児童がほぼ全員でした。そうではない児童も、わずかですがいます。学級担任の授業スタイルで統一されている方がよいなど、個別の理由があるのだらうと思われます。いろいろな教師の専門性や個性に触れることは、社会性を培う上では大切なことです。小規模校ですので全員の教師が全ての子供に関わるように努力しています。これからもより多くの教師が関わる体制を続けて参ります。

(9)あなたは、二人以上の先生に教えてもらったり、少ない人数で授業を受けたりすることについてどう思いますか。



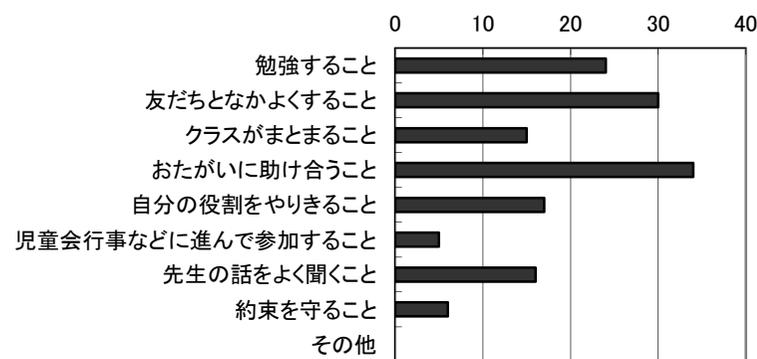
設問(2)でも触れましたが、授業方法の工夫・改善のため、算数科を中心にT.T.(教員2人体制)の授業、少人数の習熟度別分割授業を取り入れています。多くの児童が、それらを肯定的にとらえています。個に応じた学習など、今後も一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導を進めるとともに、「どちらかといえばよくない」という回答も複数ありますので、個の課題に応じた・授業のあり方を研究して実践を進め、学びやすい、分かりや

(11)あなたは、お家の方に学校のことを話しますか。



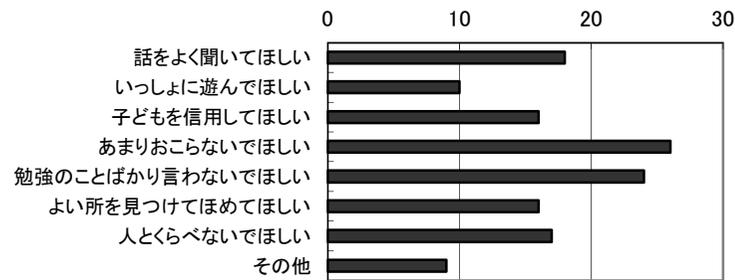
多くの児童が、学校のことを家庭で話しているようですが、あまり話をしない・まったく話をしない児童もいます。4項目の割合は、ここ数年似たような傾向が続いています。ご家庭での生活サイクルや、個々の児童の気質など事情はさまざまだと思いますが、学校での話を聞くことを、保護者の皆さまも楽しんでいただく雰囲気、お子さんとの会話をこれからも大事にさせていただけたらと思います。学校だよりや学年だよりも、ぜひご活用ください。本校ホームページの更新にも、引き続き努めて参ります。それらがご家庭での話題作りの一助となれば、幸いです。

(10)学校生活で特に大切だと思うことは何ですか。



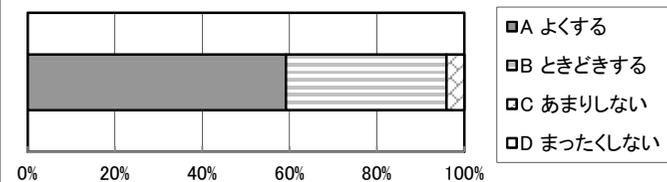
①おたがいに助け合うこと。②勉強すること。③友だちとなかよくすること。④クラスがまとまること。・・・など子供たちは自分たちの学校生活をよりよいものにするため、大切にしなければならないことについて、しっかり考えているようです。一昨年度には初めて、「先生の話をよく聞くこと」が4番目に入りましたが、今年度は昨年度と同じ4項目に多くの回答が集まりました。「極端な変動ではありませんでしたので、仲間作り・学級づくりは、人権教育の観点からも、職員全体で各学級の様子・情報を共有しながら、力を入れて取り組んでおります。引き続き、一人ひとりの児童の思いを受け止め、充実した学校生活となるように努めて参ります。

(12) おうちの方に特にしてほしいことは何ですか。



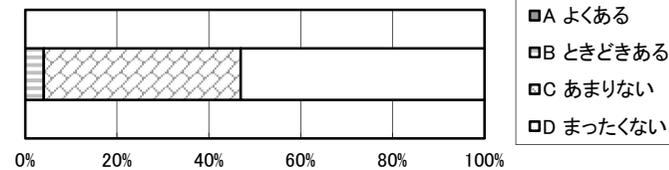
子供たちからおうちの方に望むことについては、昨年度と同様に、「人とくらべないでほしい」という回答が最も多くなりました。「ほめてほしい」「おこらないでほしい」という回答も若干増えています。親子・家族関係は、時代により、またご家庭の事情により異なるところもあると思います。結果から、子供たちの願いについて、全体的な傾向を受け止めていただく中で、それぞれのお子さんとのかかわりについて、何かご参考になれば幸いです。

(13) あなたは、近所の方に会ったらあいさつしますか。



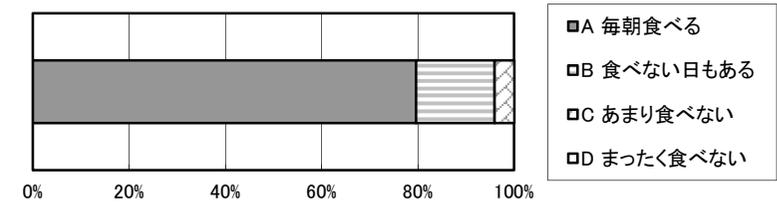
日ごろから、近所の人とよくあいさつができています。子供と地域の方々との関わりが強い、この地域の良さが表れています。実際、いろいろな場面で、地域の方からあいさつだけでなく、温かいお声をかけていただいています。感謝申し上げます。今後も、「あいさつ運動」などを地域の方々と共に取り組みを進めて、自分から進んであいさつできる子の育成に努力して参ります。

(14) 近所の方からあなたのしたことで注意されたことがありますか。



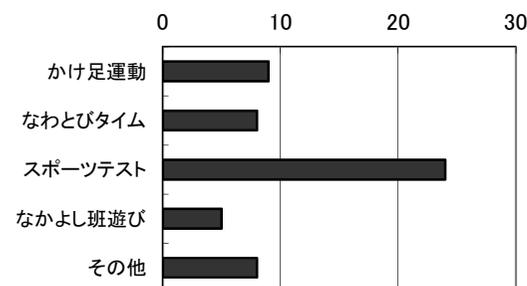
近所の方から注意をされたことがある(よく・ときどき)という回答が昨年度よりは若干増えました。気になる様子について、地域の方がお声かけくださったのだと思います。(13)とも関連いたしますが、「子ども見守り隊」の方をはじめ地域の方々にご協力いただき、声かけやあいさつを手厚くしていただいております。子供と地域の方との関わりは大切ですので、子供たちへの温かい関わりを、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(15) あなたは朝ごはんを食べていますか。



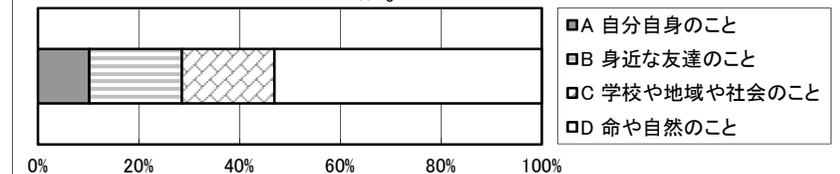
朝食を毎朝食べることは、健康な生活には欠かせないことです。食べない日もある、あまり食べない、まったく食べないという児童の割合は、約15%でした。昨年度よりは改善しておりますが、ここ数年、多少の増減を繰り返しています。昨年度は、PTA事業の「給食試食会」時の栄養教諭による学習会でも、「朝食」をテーマに取り上げ、今年度も栄養教諭はじめ校内担当が、「朝食の重要性」も含め、食育の推進に努めております。学校で児童が不調を訴えたり、イライラしたり、授業中に集中が続かなかったりするのは、朝ごはんを食べていないことと関連があることも多くあります。今後もぜひ、朝食を食べて登校できるようご協力をお願いいたします。学校では毎月、「こころと体とくらしのアンケート」を実施し、児童の心身状態の把握、より良い生活習慣・学習習慣の定着にむけての指導・支援を行っております。もし、何か食べることができない事情や健康上の理由等ありましたら、ぜひとも学校までご相談ください。

(17) 体力作りの大切さや運動の楽しさを感じるのはどれですか。



その他は、「運動会」と「水泳」、「体育の授業」、「学級でのみんな遊び」でした。スポーツテストが断然多い結果となりましたが、これは、運動の楽しさを感じることも、結果がデータ(数値記録)としてはっきりと出ること、「体力作りの大切さ」を実感する機会となっているからだと判断しています。スポーツテストの結果は、分析を行い、日ごろの体育の授業や様々な運動体験に傾向や課題を反映させるように努めております。今年度から、分析結果を「学校だより3月号」で(ホームページでも)公表しました。スポーツテストを中心にさまざまな場面で、児童自身が体力作りの大切さや運動の楽しさを意識できるよう、スポーツテストの結果を活用いたします。

(16) 道徳の時間に、特にみんなと考えたいことは何ですか。



道徳は今後、「特別の教科」として授業や評価の方法が大きく変わります。本校では現在、道徳の学習については年間35時間、全ての内容項目(誠実・明朗・公正・公平・正義など)を定められた通り行っています。内容項目は現在、上のA~Dの4つの要素に分けられています。内容項目は現在、「特別の教科」化にあたり、「自分自身に関すること」「他の人とのかかわりに関すること」「自然や崇高なもののかかわりに関すること」「集団や社会のかかわりに関すること」に再編されます。このうちの3番目(選択肢ではD)にあたる、「生命や自然のこと」について関心をもっている児童が今回も最も多いという結果になりました。次年度の重点とする内容項目を絞る際の、参考にいたします。